

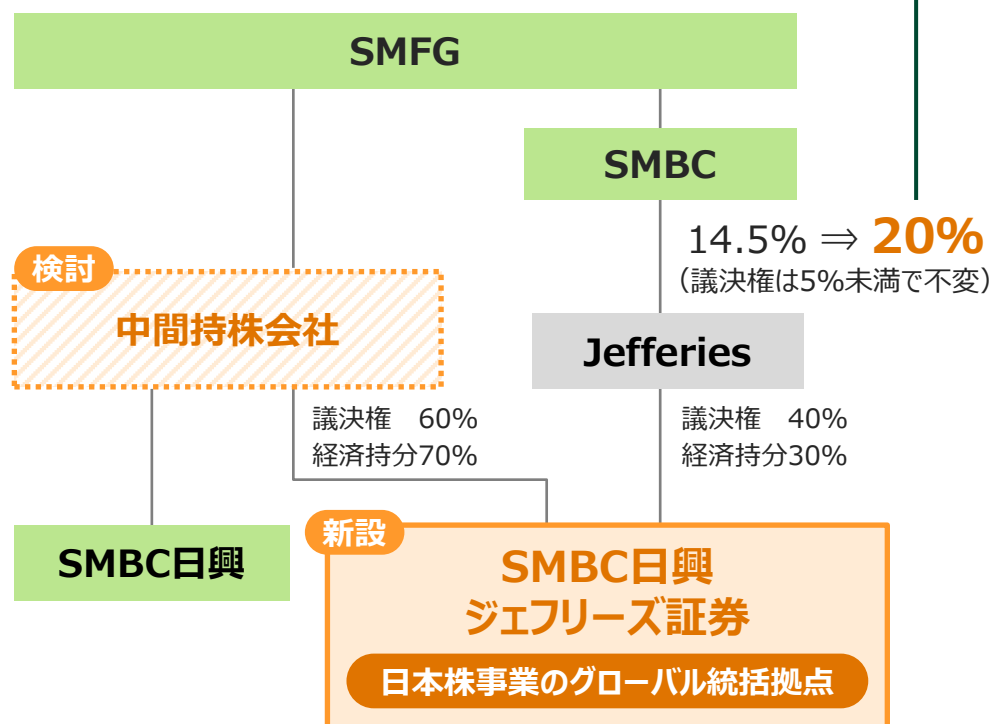
Jefferiesとの 戦略的資本・業務提携の強化について

2025年9月19日

1. 今回のリリース内容

1 日本株事業の統合

- 日本株事業のグローバル統括拠点として、
合併会社SMBC日興ジェフリーズ証券を設立
(SMBC日興の海外の日本株事業はJefferiesに集約)
- SMBCグループの事業の一体性確保のため、
SMBC日興とSMBC日興ジェフリーズ証券を管理する
中間持株会社の設立を検討



2 資本関係の強化

- Jefferiesに対する経済持分を最大20%に引上げ
(議決権は5%未満で不変)
- 取得価格：約1,350億円 (足元の株価ベース)
- CET1比率への影響：▲13bps
- 投資採算：これまでの協働領域等もあわせて
出資3年目にROE 13%程度
- 利益貢献：これまでの協働領域を含め、出資5年目
に500億円の協働効果を展望
(うち日本株事業では100億円)

3 EMEA地域における協働強化

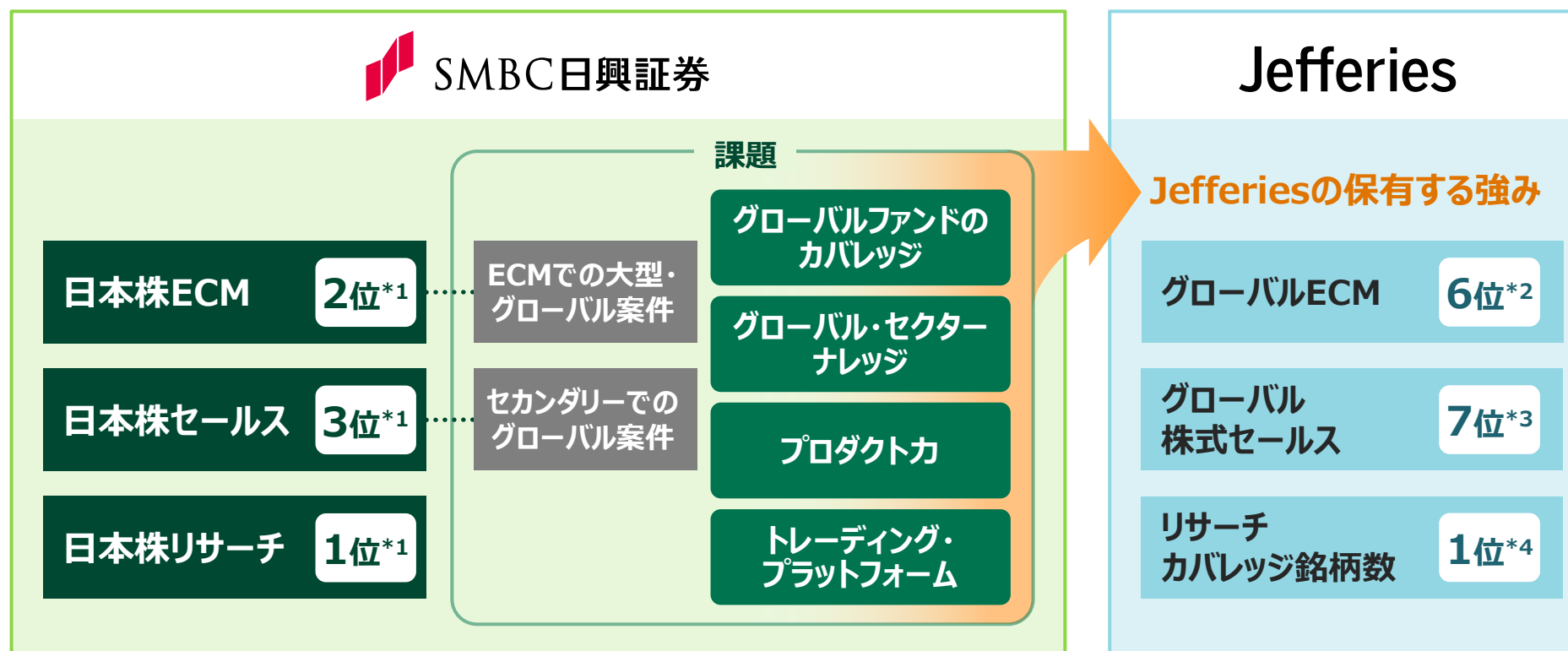
- ファンドスポンサー顧客の共同カバレッジ体制を拡充
- 協働の対価として、Jefferiesが成約したM&A、ECM
フィーの一部を受領

4 新規ファイナンスの提供

- さらなる提携深化を見据えて25億米ドルを提供
 - ✓ EMEA地域のレバレッジド・レンディング
 - ✓ 米国のプレIPOレンディング

2. SMBC日興の強みと課題

SMBC日興は国内では相応のプレゼンスを保有するも、大型・グローバル案件には課題より強力なフランチャイズの構築に向けて日本株事業を統合し、両社の強みを最大限レバレッジ



日本株事業統合によって、国内外でのプレゼンス向上を目指す

*1 出典：Dealogic（2023/4~2025/3） *2 出典：Dealogic（2024/11/30 時点）

*3 外部調査機関データを基にJefferiesで作成(2024/9時点) *4 出典：Starmine Stock coverage ranks (2023/9~2024/8)

3. 日本株事業の統合による狙い

両社の強みを掛け合わせることで、グローバルな日本株事業における発行体・投資家への対応力を抜本的に強化

発行体へのソリューション力強化

国内大企業の大型・グローバルECM案件の獲得

ケイパビリティの融合

国内

リテール

投資家カバレッジ

グローバル

ホールセール

国内

リサーチ

グローバル

グローバルな株式トレーディング・プラットフォーム

投資家へのソリューション力強化

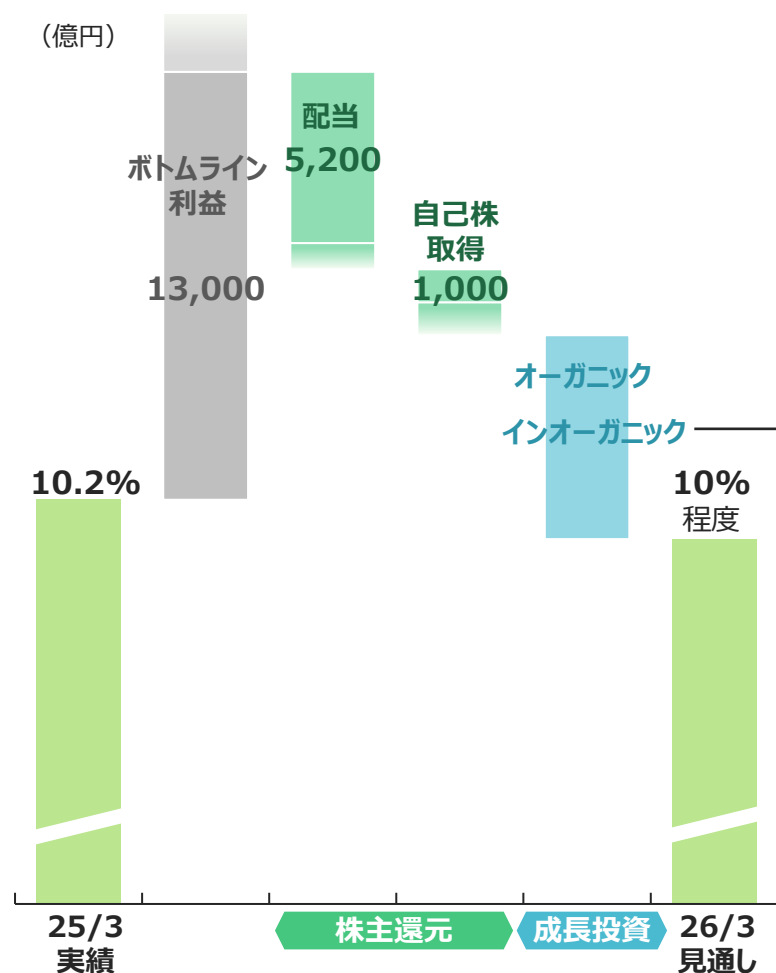
事業法人・機関投資家（ヘッジファンド等）へのプロダクト力強化

事業法人：コーポレート・エクイティ・デリバティブ

機関投資家：シンセティック・プライム・ブローカレッジ

4. キャピタルアロケーション

発表済みのインオーガニック案件によるCET1比率への影響は、期初計画の範囲内
 年度末のCET1比率は、ターゲットである10%程度を維持できる見通し



インオーガニック案件

対象企業	案件概要	CET1影響	
YES BANK	20%出資	▲2,400億円	(▲24bp)
Jefferies	5.5%出資 (経済持分)	▲1,350億円	(▲13bp)
YES BANK	4.2%出資	▲510億円	(▲5bp)
Kotak	持分売却	+670億円	(+7bp)

期初計画に
織り込み済み

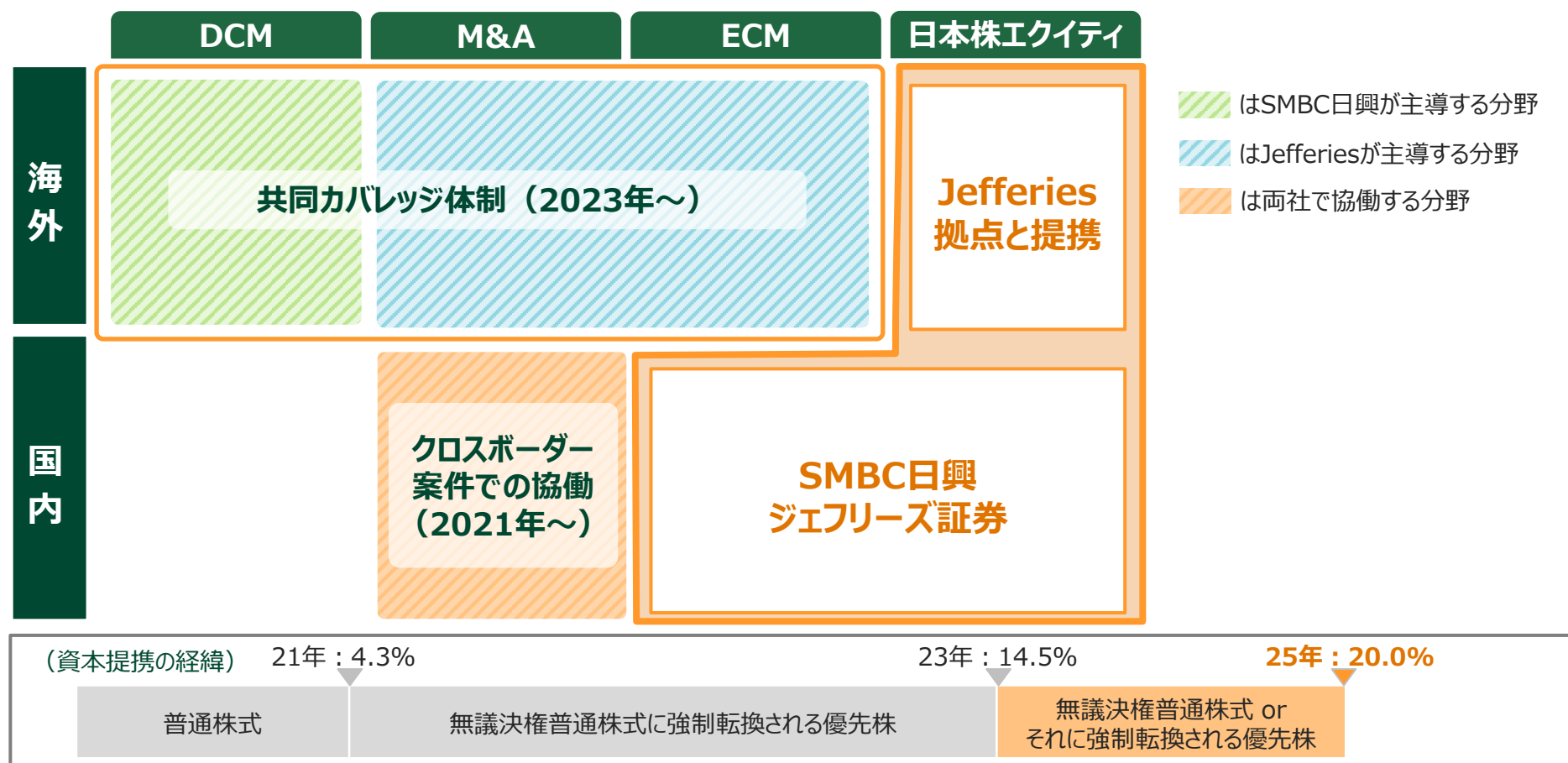
売却により
資本捻出

(参考) Jefferiesとの業務提携

2021年の資本業務提携開始以降、協働の範囲を順次拡大

今回、ホールセールにおける日本株事業をグローバルに統合し、さらなる競争力の強化を目指す

Jefferiesとの提携範囲の拡大



(参考) Jefferies概要

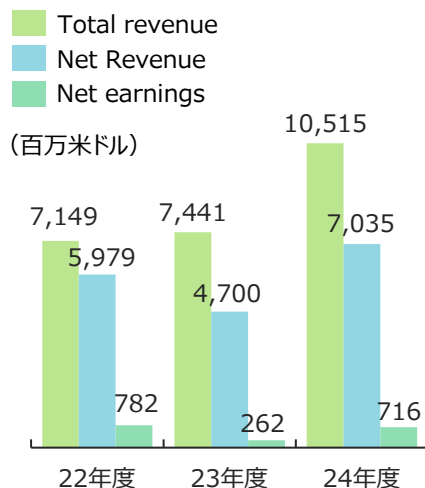
Plan for
Fulfilled Growth

基本情報

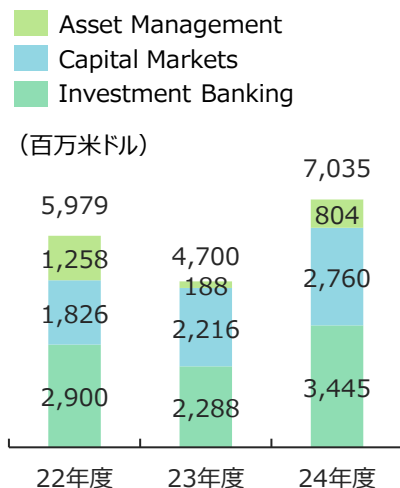
会社名	Jefferies Financial Group Inc.
上場	NYSE上場（時価総額 約2兆円*1）
格付	BBB（S&P Global）
設立	1962年
経営陣	Joseph Steinberg（会長） Richard Handler（CEO） Brian Friedman（社長）
従業員数	7,671名（2025年5月末）

財務サマリ

Consolidated Earnings



Net Revenue by source



強み

M&A アドバイザー

- 世界有数のM&Aフランチャイズを保有
- 24年度のセルサイド案件の執行実績は190件以上

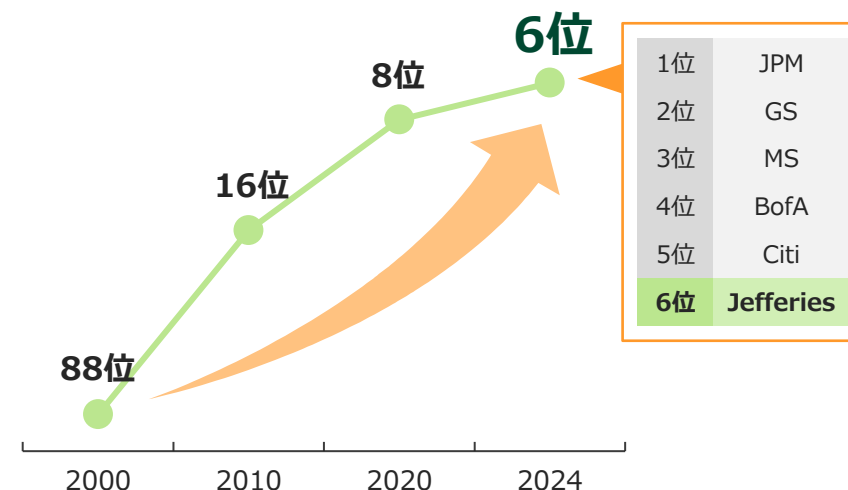
エクイティ キャピタル マーケット

- 米国IPOのリーディング・プレーヤー
- 過去5年間で1,280件を超えるECM案件を執行、4,150億ドル以上の資金調達を手掛ける

レバレッジド ファイナンス

- 最大のフィナンシャル・スポンサー数のカバレッジを誇り、米国におけるレバレッジドファイナンスビジネスのリーダー

投資銀行におけるJefferiesのフィーシェアランキング*2



*1 為替レートはUSD/JPY=147円を適用 *2 出典：Dealogic（M&Aアドバイザー、ECM、レバレッジド・ファイナンス計）



三井住友フィナンシャルグループ

本資料には、当社グループの財政状態および経営成績に関する当社グループおよびグループ各社経営陣の見解、判断または現在の予想に基づく、「将来の業績に関する記述」が含まれております。多くの場合、この記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれますが、この限りではありません。また、これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであり、実際の業績は、本資料に含まれるもしくは、含まれるとみなされる「将来の業績に関する記述」で示されたものと異なる可能性があります。実際の業績に影響を与えるリスクや不確実性としては、以下のようなものがあります。国内外の経済金融環境の悪化、保有株式に係るリスク、不良債権残高および与信関係費用の増加、当社グループのビジネス戦略が奏功しないリスク、合併事業・提携・出資・買収および経営統合が奏功しないリスク、海外における業務拡大が奏功しないリスクなどです。こうしたリスクおよび不確実性に照らし、本資料公表日現在における「将来の業績に関する記述」を過度に信頼すべきではありません。当社グループは、いかなる「将来の業績に関する記述」について、更新や改訂をする義務を負いません。当社グループの財政状態および経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、本資料のほか、有価証券報告書等の本邦開示書類や、当社が米国証券取引委員会に提出したForm 20-F等の米国開示書類、当社グループが公表いたしました各種開示資料のうち、最新のものをご参照ください。